



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名 株式会社 松屋フーズ

上場取引所 東

コード番号 9887 URL <http://www.matsuyafoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 緑川 源治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営開発本部長 (氏名) 鈴木 治夫

TEL 0422-38-1121

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	55,526	6.6	3,878	7.0	3,874	7.2	1,726	△2.3
23年3月期第3四半期	52,113	11.7	3,626	94.4	3,615	98.2	1,767	115.4

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,730百万円 (△2.1%) 23年3月期第3四半期 1,768百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	90.60	—
23年3月期第3四半期	92.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	55,244	32,620	59.0	1,711.68
23年3月期	49,867	31,347	62.9	1,644.86

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 32,620百万円 23年3月期 31,347百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
24年3月期	—	12.00	—		
24年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,770	7.9	5,110	9.4	5,100	8.4	2,350	7.9	123.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	19,063,968 株	23年3月期	19,063,968 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	6,461 株	23年3月期	6,226 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	19,057,617 株	23年3月期3Q	19,057,774 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8
5. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による急激な落ち込みから着実に回復の兆しを見せているものの、欧州債務危機等の金融不安や円高の進行など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、個人消費が長期に渡り低迷し、低価格志向の強まりが顕著となっている一方、調達価格の上昇など、経営環境は厳しさを増しております。

このような環境の中で、当社グループは以下のような諸施策を推進し、業容の拡大と充実に積極的に取り組んでまいりました。

新規出店につきましては、直営の牛めし定食店77店舗、とんかつ業態3店舗の合計80店舗を出店いたしました。一方で、直営店4店舗につきましては撤退し、海外店舗で2店舗を1店舗に統合いたしました。したがって、当第3四半期連結会計期間末の店舗数はFC店及び一時休業店を含め、913店舗（うちFC6店舗、海外4店舗）となりました。この業態別内訳としては、牛めし定食店870店舗、とんかつ業態26店舗、鮪業態9店舗、その他の業態8店舗となっております。

新規出店を除く設備投資につきましては、川島生産物流センターの建設、48店舗の改装（全面改装3店舗、一部改装45店舗）の実施等を行ってまいりました。

商品販売及び販売促進策につきましては、「牛めし」「オリジナルカレー」等の値引きキャンペーンを実施したほか、新商品として「牛肉と野菜のジンギスカンダレ炒め定食」「とろろ御膳」「とろろ牛皿御膳」「具だくさんトマトカレー」「具だくさんチキンカレー」「旨辛ネギたま牛めし」「ラー油・カクテキキムチ牛めし」「ネギ塩豚カルビ丼」「親子そば丼」「中落ちカルピステーキ定食」等を導入いたしました。また、「元気応援！丼フェア」として、「牛めし」「ビビン丼」「キムカル丼」の値引きキャンペーン、「夏だ！テッパン！豚定フェア」として「豚焼肉定食」「豚生姜焼定食」「豚キムチ定食」の値引き販促、「秋の3バーグフェア」として「うまトマハンバーグ定食」「デミたまハンバーグ定食」「テリたまハンバーグ定食」の値引き等を実施いたしました。

これらの取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の連結ベースの業績は次のとおりとなりました。

まず、売上高につきましては、既存店が前年比100.5%と前年を上回ったこと等に加え、前年度以降の新規出店による売上増加分が寄与したことにより、前年同期比6.6%増の555億26百万円となりました。

売上原価につきましては、主要食材価格の動向を踏まえた商品開発及び販売価格やメニュー構成比の変化等により、原価率が前年同期の32.6%から32.0%となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、売上高に対する比率が前年同期の60.4%から61.0%となりました。この要因は、テレビコマーシャル等の販売促進を強化したこと等により、人件費以外の経費の売上高に占める割合が、前年同期の28.6%から29.3%と上昇したものの、店舗における生産性向上の取り組みとアルバイト・パートの平均時給低下により、人件費の売上高に占める割合が、前年同期の31.8%から31.7%に改善したことによるものであります。なお、当社において重視すべき指標と認識しているFLコスト（売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト）の売上高比は、前年同期の64.4%から63.7%へと改善いたしました。

以上の結果、営業利益は前年同期比7.0%増の38億78百万円、経常利益は同7.2%増の38億74百万円、四半期純利益は同2.3%減の17億26百万円となりました。

なお、当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は552億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億76百万円増加いたしました。このうち、流動資産は105億92百万円となり、現金及び預金が3億87百万円増加した一方、繰延税金資産が5億27百万円減少したこと等によって、前連結会計年度末に比べ1億70百万円減少いたしました。また、固定資産は446億52百万円となり、川島生産物流センターの建設及び新規出店に伴う有形固定資産の増加等によって、前連結会計年度末に比べ55億46百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における負債は226億24百万円となり、借入実施による借入金の増加等によって前連結会計年度末に比べ41億3百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は326億20百万円となり、利益剰余金の増加等によって前連結会計年度末に比べ12億72百万円増加となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の62.9%から59.0%へととなっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績は概ね計画通りの水準で推移しており、平成23年10月31日に公表いたしました、通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,495,277	6,883,227
受取手形及び売掛金	354,071	306,681
商品及び製品	261,724	276,256
原材料及び貯蔵品	1,996,027	2,033,047
繰延税金資産	801,587	274,492
その他	853,625	820,394
貸倒引当金	—	△1,800
流動資産合計	10,762,313	10,592,299
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,788,243	15,584,148
機械装置及び運搬具（純額）	861,648	1,797,337
工具、器具及び備品（純額）	1,204,535	1,882,910
リース資産（純額）	155,164	289,712
土地	8,786,030	8,786,030
建設仮勘定	932,596	206,037
有形固定資産合計	23,728,219	28,546,176
無形固定資産		
ソフトウェア	180,211	169,833
その他	22,443	22,194
無形固定資産合計	202,654	192,027
投資その他の資産		
投資有価証券	257,190	184,297
敷金及び保証金	12,601,684	13,012,780
長期前払費用	506,883	582,228
店舗賃借仮勘定	250,136	552,335
繰延税金資産	665,841	688,488
投資不動産（純額）	629,870	617,509
その他	281,681	293,453
貸倒引当金	△18,798	△17,200
投資その他の資産合計	15,174,488	15,913,893
固定資産合計	39,105,363	44,652,097
資産合計	49,867,676	55,244,397

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,932,435	2,406,999
短期借入金	954,126	4,608,311
1年内返済予定の長期借入金	2,653,566	2,546,758
未払金	1,971,553	3,324,457
リース債務	41,008	77,416
未払法人税等	2,090,865	520,373
賞与引当金	1,313,251	430,351
役員賞与引当金	38,047	316
災害損失引当金	8,968	—
資産除去債務	2,846	—
その他	783,959	630,104
流動負債合計	11,790,627	14,545,088
固定負債		
長期借入金	5,351,302	6,532,821
役員退職慰労引当金	582,100	582,100
リース債務	119,571	224,851
資産除去債務	499,216	564,154
その他	177,544	175,080
固定負債合計	6,729,734	8,079,006
負債合計	18,520,361	22,624,095
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,655,932	6,655,932
資本剰余金	6,963,144	6,963,144
利益剰余金	17,748,910	19,018,142
自己株式	△12,304	△12,655
株主資本合計	31,355,682	32,624,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△58	—
為替換算調整勘定	△8,308	△4,262
その他の包括利益累計額合計	△8,366	△4,262
純資産合計	31,347,315	32,620,302
負債純資産合計	49,867,676	55,244,397

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	52,113,041	55,526,843
売上原価	17,013,862	17,776,238
売上総利益	35,099,178	37,750,605
販売費及び一般管理費	31,472,945	33,872,325
営業利益	3,626,233	3,878,279
営業外収益		
受取利息	23,513	19,887
受取配当金	929	1,229
受取賃貸料	183,242	182,170
その他	93,333	103,349
営業外収益合計	301,018	306,636
営業外費用		
支払利息	119,856	102,802
賃貸費用	170,915	170,482
その他	20,906	36,689
営業外費用合計	311,678	309,974
経常利益	3,615,572	3,874,941
特別利益		
収用補償金	68,328	—
固定資産売却益	—	1,726
賞与引当金戻入額	1,897	—
貸倒引当金戻入額	2,327	—
受取保険金	—	31,961
受取和解金	—	10,805
その他	—	1,942
特別利益合計	72,553	46,436
特別損失		
固定資産除却損	37,072	32,142
店舗閉鎖損失	35,563	23,036
固定資産売却損	164	9,106
投資有価証券評価損	—	145,575
減損損失	48,653	61,871
和解金	200	101,280
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	178,254	—
特別損失合計	299,908	373,011
税金等調整前四半期純利益	3,388,217	3,548,366
法人税、住民税及び事業税	1,504,306	1,317,342
法人税等調整額	116,233	504,409
法人税等合計	1,620,539	1,821,752
少数株主損益調整前四半期純利益	1,767,677	1,726,614
四半期純利益	1,767,677	1,726,614

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,767,677	1,726,614
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	58
為替換算調整勘定	940	4,046
その他の包括利益合計	954	4,104
四半期包括利益	1,768,632	1,730,719
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,768,632	1,730,719
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年6月24日開催の定時株主総会及び平成23年10月31日開催の取締役会において、下記の配当に関する事項を決議し、配当金の支払をいたしました。この結果、第1四半期会計期間において利益剰余金が228,692千円減少し、当第3四半期会計期間において利益剰余金が228,690千円減少しております。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	228,692	12	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金
平成23年10月31日 取締役会	普通株式	228,690	12	平成23年9月30日	平成23年12月9日	利益剰余金

(6) 重要な後発事象

重要な設備投資

当社は、平成24年1月26日付けで、兵庫県神戸市東灘区(神戸六甲アイランド内)の土地を取得することに承諾いたしました。

①目的

物流センター及び食材加工場等の建設予定地とし、将来の業容拡大に伴う物流及び生産等の効率化並びに強化を図ることを目的としております。

②設備投資の内容

所在地	兵庫県神戸市東灘区向洋町西6丁目2番の一部
面積	約20,000㎡
土地取得予定価額	1,480,000千円

③設備の導入時期

土地取得予定時期	平成24年3月
----------	---------

④資金の調達方法

自己資金及び金融機関からの借入を予定しております。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社グループ（当社及び連結子会社、以下同じ）は、直営店で最終消費者へ牛めし、定食等を直接販売する方法（直営販売形態）及びフランチャイズ店並びにその他の取引先へ食材、消耗品等の販売を通じて、最終消費者へ牛めし・定食を販売する方法（外部販売形態）による単一業態での事業を営んでおり、セグメント別生産実績及びセグメント別販売実績を把握していません。

このため、生産実績及び販売実績の記載は、形態別に基づく実績によっております。

1. 生産実績

当社は、セントラルキッチン方式により嵐山工場及び富士山工場にて単一食材（主に、肉類、米類、野菜類、タレ・ソース類）を加工し店舗へ供給する単一業態による生産を行っております。

当社の形態別販売実績合計に対する生産実績は、次のとおりであります。

形態別	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	
	金額 (千円)	前年同期比 (%)
肉類	4,891,299	100.5
米類	2,930,079	90.2
タレ・ソース類	2,317,798	109.2
野菜類	1,450,094	99.3
その他	455,882	122.8
合計	12,045,154	99.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 受注状況

当社グループは、受注活動を行っていないため、該当事項はありません。

3. 販売実績

当社グループは、直営店で最終消費者へ牛めし・定食等を直接販売する方法及びフランチャイズ店並びにその他の取引先へ食材、消耗品の販売を通じて、最終消費者へ牛めし・定食等を販売する方法をとっております。

このように当社グループは、単一業態で事業を営んでおり、セグメント情報を記載することが困難なため形態別販売実績を記載しております。

(形態別販売実績)

形態別	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		前年同四半期比
	金額 (千円)	構成比 (%)	比率 (%)
直営店売上			
牛めし定食事業	52,427,681	94.4	107.5
とんかつ事業	1,366,304	2.5	119.0
鮭事業	630,613	1.1	86.7
その他	184,178	0.3	118.9
小計	54,608,777	98.3	107.5
外部販売売上			
食材売上	425,664	0.8	61.6
子会社売上	433,960	0.8	75.1
ロイヤルティ等収益	58,441	0.1	106.4
小計	918,065	1.7	69.3
合計	55,526,843	100.0	106.6

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 子会社売上の内訳

㈱エム・ティ・ティ（修繕・メンテナンス売上等）	119,734千円
㈱エム・エル・エス（クリンリネス事業売上等）	37,130千円
Matsuya Foods USA, Inc.（飲食事業売上）	277,095千円